

会員生協紹介

生活協同組合コープやまぐち



- ◆代表者 会長 岡崎 悟
理事長 山崎和博
 - ◆理事 専務理事 米原直樹 常任理事 末益克行
常任理事 太田高志 常任理事 福浪美紀
常任理事 岩崎美穂
 - ◆設立 1963年8月31日
 - ◆組合員数 215,605人
 - ◆出資金 86億87百万円
 - ◆総事業高 228億91百万円
 - ◆職員数 コープ職員 632人
アルバイト職員 346人
- 【数字は2021年度末】



基本理念

「一人ひとりの願いを寄せ合い、私たちのまちに
人間らしい豊かなくらしの創造を！」



コープやまぐち
マスコットキャラクター

創立60周年

これまで、事業と活動を推進されてきた先人の方々、そして組合員、職員、生産者やお取引先、行政や他団体等、多くの方々の支えにより、2023年コープやまぐちは創立60周年を迎えます。

◆主な事業の紹介

【宅配事業 ここくる】

県内どこでも笑顔でつながり、地域のくらしを見守ります。「ここくる」は県内どこでも「ここ」に「くる」を表わしています。



子育て応援の「ここサポ」は7歳までサポートを拡大。その他にも70歳以上の方がお買い物しやすい「70サポート」など、組合員のくらしに寄り添ったサポートを展開中。夕食の宅配事業もあります。また、配達時に毎週・毎日お会いする特徴を活かし、高齢者を中心とした地域見守り活動に関する協定締結を行っています。



【店舗事業 ここと】



組合員同士・組合員と職員で“くらしに役立つお店”を一緒に創っていきましょうとの意の「ここと」。スーパーマーケット（6

店舗）と、移動店舗の拠点機能のあるミニ店舗（1店舗）で、普段のくらしを支えます。

お買い物支援の強化を目的に配置した、店舗までを送迎する「お買い物サポートカー」の取組み（県内に9台稼働中）も地域の方に喜ばれています。



【生活事業～移動店舗 おひさま号】



きめ細かく、組合員や地域のくらしに役立つ事業をめざして、中山間地域を中心に、移動店舗おひさま号を県内12台が運行しています。

ここと各店を拠点とし、山口県内の販売拠点は600カ所以上、個人宅に訪問する移動店舗車両もあり、組合員に寄り添った対応をすすめ、1年間ではのべ13万人以上の方が利用しています。



◆2022年度活動のトピックス

●山口県との協働の取り組みすすむ！

コープやまぐちと山口県が相互に連携・協力し、社会全体で子どもと子育て家庭を支える県づくりを進めることで、若い世代が結婚の希望を叶え、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりの推進を図るため、2月16日、「はじめましてBOX」をはじめとした協働の取り組みを進める「子育て支援等に関する連携協定」を締結しました。



●ユニセフ募金に1060万円

ロシア侵攻により避難を強いられているウクライナの子どもたちやその家族への支援として、組合員さんへウクライナ緊急支援募金を呼びかけ、約842万円のあたたかい善意が集まりました。この緊急支援募金を、通年常設している「ユニセフ募金」で2021年度の一年間で集まった募金と合わせて、6月『山口県ユニセフ協会』へ寄附しました。



●やまぐちピースフォーラム2022開催

8月、コープやまぐちや山口県生活協同組合連合会で作る山口県ピースアクション実行委員会が主催した「やまぐちピースフォーラム2022」が山口市で開催されました。県内各地からオンライン配信も含めて約280名の方が参加し、平和への思いを新たにしました。



●フードドライブ活動に年間1万5千点

食品ロスの減らして必要な人へつなぐ、フードドライブ活動には、店舗・宅配あわせて年間1万5千点の食料品が寄せられています。NPO法人フードバンク山口を通じて、必要な方々へお届けしています。

